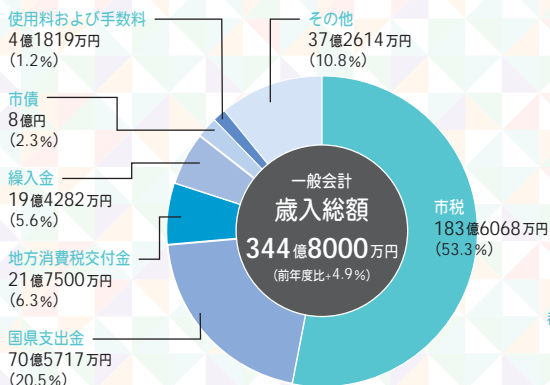


予算の概要

※端数処理(四捨五入)により合計が合わない場合があります。

令和4年度当初予算 496.1 億円 (前年度比+5.2%)

一般会計 344.8 億円 特別会計 88.4 億円 企業会計 62.9 億円



市税の内訳

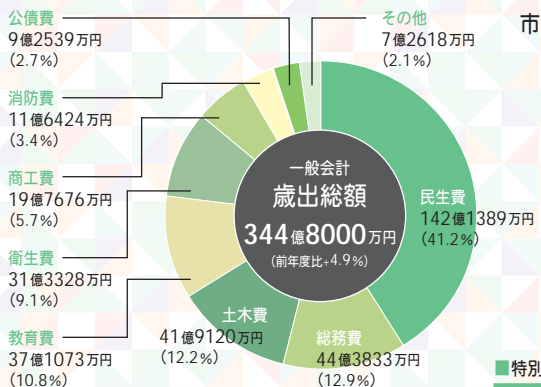
固定資産税	84億1277万円
個人市民税	65億7250万円
都市計画税	13億5945万円
法人市民税	12億6661万円
市たばこ税	5億414万円
軽自動車税(種別割)	2億733万円
国有資産等所在市町村交付金	1689万円
入湯税	1255万円
軽自動車税(環境性能割)	845万円

都市計画税

都市計画事業や土地区画整理事業に充てるため都市計画区域内の土地・建物に対して課す目的税

入湯税

環境衛生施設の整備や観光振興などに充てるため鉱泉浴場の入湯に対して課す目的税



市民1人当たりの予算額 37万1961円

市民の人数 9万2698人(令和3年12月末現在)

民生費(社会保障、子育て支援など)	15万3335円
総務費(市役所の運営、安心安全対策など)	4万7879円
土木費(道路、公園整備など)	4万5213円
教育費(小・中学校教育、社会教育など)	4万30円
衛生費(健康増進、ごみ処理など)	3万3801円
商工費(商工業の振興など)	2万1325円
消防費(消防、防災対策など)	1万2560円
公債費(市債(借入金)の返済)	9983円
その他(農林水産業費、労働費など)	7834円

特別会計の予算

国民健康保険事業	73億5188万円
後期高齢者医療事業	14億8640万円

企業会計の予算

水道事業	31億3290万円
下水道事業	31億5604万円

令和4年度末市債残高見込み 総額 187億6465万円

一般会計	90億6262万円
水道事業会計	5億5579万円
下水道事業会計	91億4624万円

知多北部広域連合 ☎052(689)1651
構成：大府市・東海市・知多市・東浦町
運営：介護保険事業
一般会計 38億3931万円
介護保険事業特別会計 246億815万円
※大府市の負担金は9億3897万円

知北平和公園組合 ☎(48)5511
構成：大府市・東海市・東浦町
運営：知北霊園・知北斎場
一般会計 2億4028万円
霊園事業特別会計 1億4310万円
※大府市の負担金は9936万円

東部知多衛生組合 ☎(46)8855
構成：大府市・豊明市・東浦町・阿久比町
運営：東部知多クリーンセンター・住友重機械温水プール・東部知多浄化センター
一般会計 26億6668万円
※大府市の負担金は8億7111万円

いつまでも 住み続けたい



健康都市おおぶ
の実現を目指して

2/25、令和4年大府市議会第1回定例会で岡村市長が施政方針を発表しました。今回の特集では、施政方針の内容や令和4年度予算の一部をお伝えします。法務財政課 ☎(45)6252

施政方針

(要約)

持続可能な

まちづくりを推進



大府市長 岡村秀人

令和4年度は、まちづくりの指針である第6次大府市総合計画の3年目にあたり、市民が一人丸となってコロナ禍の暗雲を払い、新たな時代を切り開いていくための重要な年と位置付け、新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、ウィズコロナ・ポストコロナの時代にふさわしい施策を計画的かつ着実に推進するための予算を編成しました。

令和4年度予算では、特に、県内トップを誇る合計特殊出生率のさらなる向上とともに、市の宝である全ての子どもたちの未来のため、子ども医療費の助成対象の拡大や保育園と小・中学校におけるICT環境の整備などの『子育て施策・教育環境のさらなる充実』をはじめ、市民参加による『ゼロカーボンシティの実現』、先進的なデジタル技術を活用した『デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進』、人生100年時代を見据えた『成年後見制度の利用促進』、市の玄関口である『駅周辺・中心市街地の整備』、本市ならではの資源である『バイオリンやスクラップ・ツッツジを活用したまちづくり』に関連する取り組みについて、重点的に実施してまいります。

また、オミクロン株による感染が広がり続ける中、新型コロナウイルスの3回目の追加接種について、希望する方が速やかに受けられるよう関係機関と連携し、迅速かつ的確に実施してまいります。

毎年恒例としている『まちづくりの報告書』について、「賢者が時の流れに合せて日々自己変革すること」を意味する『大賢虎変』といたしました。このコロナ禍の経験を古い制度や概念を改める好機と捉え、引き続き『改善改革』を旗印に、いつまでも住み続けたい、サステイナブル健康都市おおぶの実現に向け、全身全霊を傾注してまいります。

政策目標

03 支え合い学び合うまち



児童生徒の算数・数学の学力向上に向けた取り組みの実施

18万円

偉大な数学者である永田雅宜^{ながの まさあき}氏の出身地として、子どもたちが算数・数学に興味や関心を持ち、学力の向上を図ることができるように、小中学生を対象とした公民館講座「ながラボ」を開催します。

若い世代の声を生かしたまちづくりの推進

75万円

高校生・大学生などの若者の自己肯定感を育むとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成するため、若い世代の柔軟な発想を生かして政策提言を行う「若者会議」を開催します。

その他の事業

市民と市長のまちトークの開催 6万円 外国にルーツを持つ子どものための教育支援の充実 209万円

政策目標

01 ころもからだも元気に過ごせるまち



子ども医療費の助成対象の拡大

2021万円

令和3年度に開催した中学生サミットでの要望などを踏まえ、中学校卒業後から18歳になる年の年度末の子どもについて、入院は無料・通院は1割の自己負担となるように助成対象を10月から新たに拡大します。

その他の事業

がん対策の充実 2252万円 予防接種の推進 3億5420万円 文化財の伝承・有効活用 695万円



バイオリンの里・大府の実現に向けた取り組みの推進

317万円

市民が気軽にバイオリンの生演奏を楽しめるように大府みどり公園を会場とした野外コンサートを開催するとともに、市役所市民健康ロビーを会場としたバイオリンロビーコンサートを定期的に開催します。



大府市民球場の整備

4328万円

令和3年度に取得した市内初の硬式野球での利用も可能な大府市民球場について、市民を中心とした利用団体・整備検討委員会から意見をもらい、今後の球場の整備・運用方針について検討します。

政策目標

04 環境にやさしい持続可能なまち



犬・猫との共生に向けた取り組みの推進

137万円

犬や猫の健康と安全を守りつつ周辺環境との調和を図るため、飼い方マナーや災害時の備えなどに関する周知啓発を行います。マイクロチップの装着費用の補助制度を創設するとともに、災害時に備えてペットフードの備蓄を計画的に進めます。

その他の事業

段ボールコンポストの普及啓発 14万円 クリーン・アップ・ザ・ワールドin大府の活動支援 9万円



ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みの推進

2180万円

環境性能に優れた次世代自動車の購入費用の補助制度を新たに創設します。さらに、市民が日常的に取り組める環境配慮行動を示したアクションプランを作成するとともに、行動の動機付けとなるグリーンライフポイント制度を創設します。

政策目標

02 地域で助け合えるまち



成年後見制度の利用促進

2100万円

福祉総合相談室に成年後見センターを設置し、制度の普及啓発、市民や後見人などに対する相談支援、申し立てなどに係る費用助成、法人後見受任体制の整備など、さまざまな施策を総合的に推進します。

その他の事業

医療的ケア児への支援の拡充 672万円 障がい者アートのノベルティグッズの制作 52万円



平和事業の推進

168万円

戦争の悲惨さや平和の大切さを市民とともに考え、次の世代へと継承するため、中学生平和大使を沖縄へ派遣するとともに、おおぶ平和映画祭や沖縄戦パネル展を開催します。



障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用促進

184万円

災害時に避難所などでの迅速な支援につなげるための災害用コミュニケーションボードを作成するほか、点字プリンターを導入するとともに、パソコン要約筆記の体験講座を実施します。

政策目標

07 子どもが輝くまち



バイオリンによる音楽教育の推進

314万円

子どもたちがバイオリンに親しみ、興味を持つ機会を提供するため、市立保育園でバイオリンの紹介や演奏を行います。北山小学校の4年生を対象に、バイオリンを使った音楽教育を試行するとともに、水野紗希さんによる小学校訪問コンサートを実施します。



子育て家庭に対する支援の拡充

636万円

さまざまな不安を抱える子育て家庭や妊産婦を支援し、家庭の養育環境を整えるため、家庭訪問による家事・育児支援を行います。保育園などに通っていない児童の保護者を対象に、一時預かりを無料で利用できる「家庭で子育て応援クーポン」について、新たに民間保育園での利用も対象とします。



小・中学校におけるICT環境の充実

5404万円

小学3年生以下の児童に各1台のタブレットを配置できるように整備し、小・中学校における1人1台のタブレット整備を完了します。学校と保護者とのコミュニケーションツールとして、児童生徒の欠席連絡・家庭への書類配付を電子化する機能を導入し、事務の効率化を図ります。

その他の事業

統合新設保育園の整備 3億8829万円

特別支援学級補助員・養護教諭補助員の増員 775万円

政策目標

08 活力とにぎわいがあふれるまち



若手農業者などへの支援の拡充

1750万円

農業を支える多様な担い手を確保し、農業の活性化を図るため、国の補助制度を活用し、新規就農者などの取り組みを支援します。ウェルネスバレー地区健康交流ゾーンにおいて、農地の長期貸付を促進し、観光農園などを誘致するため、奨励金を支給します。



伝統野菜の保存・普及事業の実施

29万円

木之山五寸にんじんや知多3号たまねぎなど、市に縁のあるあいちの伝統野菜を保存・普及するため、担い手の育成や付加価値を高めるための情報発信などの事業を実施します。

政策目標

09 まちづくりを支える持続可能な行政経営

公用車への電気自動車の導入 1118万円

ゼロカーボンシティの実現に向け、環境に配慮した公用車両の導入率の早期達成を目指し、新たに4台の電気自動車を導入するとともに、非常用電源などとして使用するための可搬型の給電設備を購入します。



政策目標

05 安心安全に暮らせるまち



防災・減災対策の推進

6854万円

災害時の要配慮者への対応として、新たに組み立て式のオストメイト用トイレを全ての災害対策支部へ配備するとともに、同報無線のアナログ無線送受信装置の更新やデジタル子局の設置を計画的に進めます。DAIWA防災学習センターの学習コーナーを充実し、センターを拠点とした防災啓発をさらに推進します。

その他の事業

三世同居・近居に係る補助の拡充 80万円

耐震性のない木造住宅の解体費用の補助 250万円



犯罪の被害者や家族などへの支援

43万円

犯罪などにより被害を受けた方やその家族などを支援するため、警察などの関係機関と連携した取り組みを総合的に推進するとともに、被害者の経済的負担の軽減を図るための支援金制度を創設します。

政策目標

06 快適で便利な都市空間が整うまち



「すわるアートコンテスト」の実施

143万円

大府市景観計画に基づき、文化芸術とまちづくりが連携した取り組みとして、健康都市にふさわしいまちなかベンチのデザインを公募する「すわるアートコンテスト」を実施し、優秀者の作品を実際に市内に設置します。

その他の事業

安全で快適な道路ネットワークの構築 5億1828万円

横根立会池公園広場の整備 9000万円



水辺の歩行空間の整備

1億円

歩行者が緑や潤いを感じながら安全に歩行できるように、石ヶ瀬川緑道について大府東浦線取付部の東側を整備するほか、鞍流瀬川緑道の令和橋から花咲台公園の区間について、夜間でも安全に利用できるようにフットライトを設置します。